

見て
来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

村田嘉明（会員）

中国東北部「一人旅」は中國の旧友との再会である。瀋陽では昨年、11月国際善隣協会が招聘した中国医科大学医学学生との

再会、長春では2年振りの友人との再会である。瀋陽と長春を

高速

鉄道動車組で往復した。6／26～7／2（7日間）旅行初

日ANAで瀋陽に飛び、瀋陽桃山空港・到着ロビーで医大5年生（庄さん、蘇さん）の出迎えを受け、瀋陽中心部「太原街」のホテルへ移動した。翌日ホテ

ルから医大生2人と徒歩で大学

病院の各外来診療科を見学した。

病院正面入口からエスカレーター

やエレベーターを利用し外来科

に移動。日本の大学病院や総合

病院と比較し規模の大きさや外

来患者の多さに圧倒され、中国

南省境）の革命根拠地が始まり

その後、昼食を学生食堂で取り、

珈琲ルームで小休止。そのとき、

瀋陽新区のNEWキャンパスか

ら国際交流処弁公室副主任・劉

佳女士が来訪し再会した。同女

士は昨年11月さくらサイエンス

プラン訪日団の団長で日本に留

学経験がある親日家である。大

学教室に移動し、訪日団学生の

内、本年1月～2月に1か月間・

臨床実習（東京女子医大、順天

堂大、札幌医大）のため再訪日

した学生の「臨床実習宣講会」

が開催され見学した。専門の臨

床科以外の日本の感想、風土、

食事などをパワーポイントで発

表した。中国医大100年の歴

史は古く、元は1930年代、

中国工農軍医学校、中国江西省

「井岡山」（せいこうさん）（湖

南省境）の革命根拠地が始まり

で英國系盛京病院、旧満州医科

大学を統合し中華人民共和国建

国後に瀋陽で開校した。

昨年訪日した中国医大生は医

学部入学から日本語教材で医学

教育を受け、日本語で授業を受

ける中国唯一の医大の学生であ

る。私が訪問した6／27は卒業

シーズンで中国医大も6／28が

卒業式であるが訪日団の学生は

卒業式に参加せず、9月から大

学院修士課程（3年間）に進学

する。7月から付属の第一病院

や盛京病院に配属され臨床研修

がスタートするため夏休みはな

く、故郷に帰省できない。6／

28の学部卒業式に出席した学生

は大学院に進学せず、所定の臨

床研修期間を経て全国統一医師

国家試験合格後、故郷の病院に

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンバスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

程3日目 濱陽発10時50分鉄G373乗車、定刻の13時21分長春西駅着、高鉄ホームに阮さん親子が出迎え、自家用車で

23

きチエックインする。夕食はホテルに近い長春中心部の王さん宅に招待され哈爾濱啤酒で乾杯し、夫人手作りの料理を堪能した。2年前に自宅訪問したときは70平方米の賃貸マンションから146平方米の広い分譲マンションに転居していた。駐車場もマンション敷地内。

4日目 上海路の旧居跡、大型書店・聯合書城訪問。

5日目 吉林大学第一病院訪問。

この病院はカナダ人外科医ベチャーンを記念した白求恩医科大学が前身で旧満州国にあったことから日本語で医学教育をしていた。しかし同医大が吉林大学に統合されてから日本語の医学教育は終了した。この病院も吉林省最大の病院で省内から沢山の患者が殺到し受診している。

* 1930年代、毛沢東の长征で紅軍の軍医として貢献したカナダ人医師、吉林大第一病院の玄関にベチャーンの銅像がある。中国の国民的英雄。

6日目 高鉄動車組D20長春発11時23分発→瀋陽北13時06分定

刻に着く。医大生蘇さんが駅南口で出迎え、ホテルに移動、チェックインした。

午後6時に医大生・庄さん（整形外科）、蘇さん（神経内科）、盛さん（耳鼻咽喉科）3人がホテルに集合し、瀋陽の繁華街「小我皇港式餐厅」に行き、広

東料理で中国最後の夕食会で交流した。3人は昨年11月30日、国際善隣協会での交流会で中国医科大学をパワーポイントで紹介、発表した学生である。

7日目 ANA機10時20分発で帰国した。庄さん、蘇さん、李さん見送りありがとう。

中国医大と日本の医大との交

流関係があり、今後も留学などで再訪日の機会があり、今後も日中友好に注力したい。

本稿関連記事は八島継男氏執筆の本年「善隣」7月号17頁～22頁を参照されたい。



講堂：満州医大からの建物



中国医科大学正門前（左：庄さん、右：蘇さん）



中国医科大学病院1階ロビー



中国医科大学100年の歴史 & 革命進軍MAP



NEWキャンパス 体育館&実験棟



中国工農紅軍軍医学校：井岡山（せいこうさん）



ベチューン

カナダ人外科医：1930年代「紅軍」
で医療に貢献した国民の英雄

25F	急救中心	信息中心
24F	神经创伤外科	整形美容-创伤修复外科
23F	创伤骨科	整形美容-创伤修复外科
22F	耳鼻咽喉-头颈外科	
21F	手足外科	泌尿外一科
20F	神经外科ICU	眼科
19F	神经肿瘤外科	神经血管病外科
17F	肿瘤妇科 普通妇一科	普通妇二科 生殖妇科
16F	乳腺外科	甲状腺外科
15F	脊柱外科	骨关节外科 运动医学科
14F	肝胆胰内科	胃肠内科
13F	胃结直肠肛门外科	
12F	肝胆胰外科	
11F	泌尿外二科	肾病科
10F	胸外科	血液净化中心
9F	新生儿科	产科
8F	麻醉科	苏醒室
7F	手术室	
6F	ICU	临床病理诊断中心

外来診療科案内板（中国医科大学第一病院）



中国医科大学看護科卒業記念写真 ガウン姿



吉林大学 白求恩第一病院



文化広場（旧満州国地質院）